

教育研究業績書

2017年10月20日

所属：日本語文化学科

資格：講師

氏名：小泉 京美

研究分野	研究内容のキーワード
日本近現代文学	近現代詩 モダニズム文学 アヴァンギャルド 植民地文学 比較文学
学位	最終学歴
博士（文学）	東洋大学大学院文学研究科国文学専攻博士後期課程

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
1. 新聞記事活用サービスを利用した授業実践	2014年4月2014年7月	大学教育向け新聞記事活用サービス「朝日新聞デジタル for アカデミー」を利用した授業を実施。受講生は設定したテーマに関する新聞記事をデータベースで調べ、デジタルデータを編集してスクラップブックを作成。学習支援システムを利用して受講生間で共有し、情報を活用したディベートを行った。主体的な学びの促進を図るとともに、専門的知識を社会的な関心に結び付けることで就職活動の準備段階とし、キャリア形成促進の端緒とした。
2. 視聴覚メディアを利用した授業実践	2012年9月～現在	通信教育課程におけるメディア授業を展開。受講生は全12回の授業動画をインターネットやフラッシュメモリで視聴し、学習管理システムを通じて課題を提出。学習段階に応じた小テストや、レポート添削を行うことで、知識の定着と理解の促進を図る。多様な修学環境に対応し、受講生の関心や疑問への即応性を損なわない学びの実現を目指す。
3. 通信教育課程における論文添削指導	2011年4月～現在	通信教育課程での論文添削指導を実施。受講生は段階的に課題を提出。参考文献や資料を幅広く調査し、情報を取捨選択して適切に論述や考察を展開しているかを評価。多様な修学環境に対応し、受講生の関心や疑問への即応性を損なわない学びの実現を目指す。
2 作成した教科書、教材		
1. 「知」の世界をひろげよう——基礎セルフディベロップメント科目・サブテキスト	2013年3月1日発行	アカデミック・スキルとリベラル・アーツの修養を目指す初年次教育のための授業用副読本として作成した。哲学、現代学、数理学、世界文学、社会学、地球学、歴史学の7科目のうち、世界文学を担当し、日本の短詩型文学や植民地文学を題材に、世界文学としての日本文学、多様化する国際環境の中での日本文化について記した。
2. 日本の詩歌——日本の近現代詩を読む	2012年9月1日公開	遠隔地からインターネットを介して受講するメディア授業のための専用教材として、学習管理システムを利用して配信している。授業内での討議や受講生からの要望に応じて更新、最新化を行い、授業内容の理解促進を図っている。
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		
1. 高等学校教諭専修免許状（国語）	2007年3月31日	
2. 中学校教諭専修免許状（国語）	2007年3月31日	
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
1. 〈異郷〉としての大連・上海・台北	共	2015年3月	勉誠出版	大連・上海・台北という三つの港湾都市の近代化の道筋を辿りながら、19世紀後半から20世紀前半における日本人の「外地」での都市体験を考察。とくに大連における日本人社会の成立と変遷について論じた。【担当箇所】和田博文・横路啓子・小泉京美「

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
2. コレクション・モダン都市文化 第5期 第85巻 満洲のモダニズム	単	2013年6月	ゆまに書房	座談会〈異郷〉としての大連・上海・台北」（第一章、2～44頁）、小泉京美「大連の日本人社会」（第二章、47～63頁）、小泉京美・和田博文・横路啓子編「大連・上海・台北 略年譜」（408～421頁） 【共著者】和田博文・横路啓子・小泉京美・宮崎真素美・宮内淳子・高橋龍夫ほか19名 満洲のモダニズムに関する資料の復刻とともに、テーマについてのエッセイ・解題・関連年表・主要参考文献一覧を収録した。エッセイでは、日清・日露戦争の従軍日記や、満洲を訪れた文学者の紀行文などを題材に、旅行者や短期滞在者の視線を通じて、日本人と満洲の関わりを概説した。さらに、長期滞在者や満洲在住日本人二世による文化運動や日本語文学の展開を通じて、日本と満洲をめぐるモダニズムの諸相を考察した。
3. 『満鉄と日仏文化交流誌『フランス・ジャポン』』	共	2012年9月	ゆまに書房	帝政ロシアがパリを模して建設した中国の都市、大連は、日露戦争後に日本が租借し、北進政策の拠点、大陸開発の玄関口となった。以来、多くの日本文学者が訪れ、紀行文や旅行記を残し、満洲在住の日本人による文学や文化の発信地ともなった。大連に端を発する日本のモダニズム詩の記憶は、敗戦後に引き揚げた日本人作家によって繰り返し描かれ、都市のモチーフが継承されてきた。大連という都市が日本近代文学に与えたものは何だったのか。その歴史と都市イメージの形成の過程を明らかにした。「大連とパリ」（50～65頁）。【共著者】和田桂子・和田博文・松崎碩子・小泉京美ほか。
4. コレクション・モダン都市文化 第5期 第85巻 満洲のモダニズム	単	2012年1月	ゆまに書房	1920年代に発行された詩雑誌・美術雑誌の復刻とともに、美術と詩をテーマにしたエッセイ・解題・関連年表・人名別作品一覧・主要参考文献一覧などの基礎資料を収録した。詩・絵画・写真・映画・演劇・建築など多様な芸術領域が交錯し、超域的に展開した日本のアヴァンギャルド芸術について、前衛詩運動と新興美術運動を中心に、詩人と画家の交流や、詩集・詩誌の装幀や挿絵の歴史、詩と美術の相互交渉や影響関係についてまとめた。
5. コレクション・都市モダニズム詩誌 第1期 第1巻 短詩運動		2009年5月	ゆまに書房	1924年に中国の大連で創刊された詩誌『亞』と短詩運動関連資料の復刻とともに、エッセイ・解題・関連年表・人名別作品一覧・主要参考文献一覧などの基礎資料を収録。エッセイでは、日本のモダニズム詩に先鞭をつけた『亞』の短詩運動の詩史上の意義と、大連の日本語文学の展開について考察した。関連年表は大連の社会・文化関連事項と短詩運動関連資料の書誌情報から構成されている。
2 学位論文				
1. 一九二〇年代から三〇年代の前衛詩運動と満洲における日本語文学の研究	単	2015年3月	総合研究大学院大学	博士学位論文。一九二〇年代から三〇年代における日本の前衛詩運動と満洲における日本語文学の結び付きについて、大連で興った短詩運動を媒介に検討した。日本のアヴァンギャルド芸術運動が、実践的に波及力の圏域を拡大する直接の契機は関東大震災にあり、さらにその後の植民地膨張という政治的与件に規定されている。本研究では日本に固有の文脈において前衛詩運動を捉え直すことでその表現の本質的な解明を目指した。
3 学術論文				
その他				
1. 学会ゲストスピーカー				
2. 学会発表				
3. 総説				
4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
6. 研究費の取得状況				
学会及び社会における活動等				
年月日	事項			

学会及び社会における活動等

年月日	事項
1. 2016年8月～現在	昭和文学会編集員
2. 2011年4月～2013年7月	日本文学文化学会校友役員
3. 2011年4月～2013年3月	日本近代文学会運営委員